

乾季アマゾン川筏下り報告書



阿部雅龍

Masatatsu Abe

冒険概要

実施内容

2012年度は南米のアマゾン川を単独で筏で下りました。

まずは、アマゾン川筏下りの練習として、アラスカ・アンカレッジに入り、ユーコン川をカヌーで750km17日間下りました。

それからペルーのリマへと飛び、20時間バスに揺られ、道路でアマゾン川へと最も近づく町・プカルパまで行き、材料と人を集め、6日間かけて筏を作製しました。

冒険をした9,10月は乾季にあたり、雨季に比べ水位は15m近くも低くなります。強盗や、川から突びだした沈木との衝突、マラリア・デング熱などの病気に警戒しながら旅を続け、ブラジル・コロンビア・ペルーとの3国境間までの約2000km程度を無事に下り終えました。

これも全てご協力・ご理解下っている皆様のお陰です。有難うございます。これからは極地冒険に向け邁進します。

日程

2012年7月12日 日本出発

7月15日 アラスカ・アンカレッジ到着

7月23日 ユーコン川・カヌー下り出発

8月8日 ユーコン川・カヌー下り終了

8月15日 アラスカ・アンカレッジ出発

8月16日 ペルー・リマ到着

8月31日 ペルー・プカルパ到着

9月10日 プカルパを筏で出発

10月21日 3国境間に到着

11月25日 日本帰国





アラスカ内はヒッチハイクで移動。



ユーコン川・カヌー下りの様子。



プカルパから見えるアマゾン川。



筏制作風景。



筏完成写真。



180cm あるパドルでひたすらに漕ぐ。



主食のファリーニャ（キャッサバ芋の乾燥粉末）と豚肉の干し肉。



浅瀬に引っかかった筏を引く。
一日中筏を引く日も少なくない。



釣りで食料を確保する。
ピラニアの刺身を食べる事もあった。



シッピーボ族の村にて。



マラリアにかかり高熱と
幻覚にうなされる。



帰国後は学校などで、冒険を共有
する為に講演会を開いている。

支出報告

内容	単位 (円)	備考
日本 - アンカレッジ - リマ航空機代	330000	
カヌーレンタル代（装備品レンタル含む）	40000	
食費	150000	
宿泊費	100000	
旅行保険費	85000	
イカダ作成費（材料代、雇用費含む）	40000	
交通費	100000	移動バス・タクシー等
装備代	200000	衣服・寝袋・鍋等
雑費	100000	
総計	1145000	

プロフィール

夢を追う男 阿部雅龍

1982 年生 180cm 68kg

秋田県出身 国立秋田大学卒業



秋田大学在校中から冒険活動を始め、講演会・執筆・メディア・SNSなどで冒険の様子を発信・共有し『夢を追う素晴らしさ』を共有するために活動中。冒険を通して誰もが夢を自由に描け、笑顔になれる社会を目指す。

2017年に同じ秋田県出身の白瀬轟中尉の足跡を辿り、単独徒歩での南極点到達を目指す。

信条は Keep Dreaming, Keep Smiling。夢を見る事、笑顔でいる事が全ての可能性を現実にする。

1896 年

父の死と家庭事情に伴い秋田県潟上市に移住する。

2001 年

国立秋田大学工学資源学部機械工学科に入学する。在学中は空手道場に内弟子として下宿する。

2004 年

大学を休学、北極南極を世界初単独徒歩横断した冒険家大場満郎さんの主催する冒険学校で働く。

2005,2006 年

南米大陸を単独自転車縦断(290 日 10924km)する。これが初めての海外旅行で当時は英語もスペイン語も話せなかった。また日記と写真をリアルタイムでブログ上に更新する。このブログはテレビ番組でも紹介され全国一位のブログになる。

2008 年

秋田大学を卒業する。大学からは南米大陸縦断を評価され優秀生徒賞に選出される。資金稼ぎとトレーニングの為に東京の浅草で人力車を引く。

2009,2010 年

カナダのバンフ国立公園内に住み、ビデオカメラマン等の仕事をする。その後、ウガンダで3ヶ月間ボランティア

2010 年

アメリカ Continental Divide Trail(147 日 4200km)を縦断。カナダ国境 - メキシコ国境間の大陸分水嶺を単独徒歩縦断する。

2011 年

カナダの Great Divide Trail(42 日 1100km)を単独踏破する。2010 年度のトレイルと併せてアメリカ - カナダ間を走るロッキー山脈縦貫トレイルを完全踏破。

2012 年

アラスカ - カナダ間のユーコン川 750km 単独カヌー、アマゾン川 42 日間 2000km 単独筏下り
現在、再び浅草で人力車を引きながら、『夢を追う素晴らしさ』を伝える為に講演会・メディア出演等で精力的に活動中。

2014 年春には 2017 年度に実施予定の南極のトレーニングとして北極圏を単独で歩き冒険の様子を配信する予定。